

令和7年度 北日本医療福祉専門学校 自己評価報告書

1 教育理念

- ・「人格の完成」、「心身ともに健康な国民の育成」とともに職業人としての専門的知識と技能を修得させ、国家、社会に寄与できる人材の育成を図る。
- ・わが国の伝統と文化を尊重し、国土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与できる人材の育成を図る。

2 教育目的

- ・本校は、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、一般教養の向上と人格の陶冶を図り専門知識と技能を有した優秀な人材を養成する。

3 人材育成像

【介護福祉科】

- ・介護を必要とする人の尊厳を大切にし、自立した日常生活を営むことができるよう、介護現場に必要な「寄り添う心」と最新の知識技術を身に着けた介護福祉士を育成します。

【こどもマイスター養成科】

- ・こどもを理解し大切にする姿勢とともに、保護者の子育てを支援できる知識と心を育み、体育や音楽、障がい児教育にも強い保育士・幼稚園教諭を育成します。

【薬業科】

- ・健康の増進や疾病の予防を支える人材として、医薬品・健康食品の専門的知識を学び、地域に信頼される医薬品登録販売者、医療事務・調剤事務従事者を育成します。

4 評価項目

4 (適切)、3 (ほぼ適切)、2 (やや不適切)、1 (不適切)

(1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	4
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3
・学校の理念、目的、育成人材、特色、将来構想などが生徒、学生、関係業界、保護者等に周知されているか。	3

① 状況

- ・教育理念や目標、育成人材像は時代に即しているか毎年見直され、それに準じた方針を校長が年度開始時に決定し、教職員に周知している。
- ・入学者オリエンテーションや入学式等で周知し、各教室に掲示、学生便覧や学校案内にも掲載した。事業所等に対しては、実習企業宛に資料送付し、周知徹底している。

② 課題・改善策

- ・学校関係者評価委員会において学校の重点目標を見据えた会議を実施し、学校の重点目標の設定は、前年度の自己評価及び学校関係者評価の結果及び評価結果等も生かした重点目標を設定する。
- ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を検討する。

(2) 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3

① 状況

- ・教育活動等に関する基本情報を7月にホームページで公開した。また、SNSでの情報発信を継続的に行っている。

② 課題・改善策

- ・教育活動に関する情報公開を継続する。

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか。	3
・関連分野の企業、関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか。	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置付けられているか。	3
・授業評価の実施、評価体制はあるか。	4
・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
・成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確になっているか。	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務を含め）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3

① 状況

- ・カリキュラム等について入学生へ説明し、2 学年にも新しい学生便覧を配布した。
- ・4月に全学生と面談を行った。
- ・学習の支援が必要な学生に対し、個人情報に配慮しながら情報を共有し、担任が中心となり指導を行った。保護者との連絡を密に行い、必要に応じて保護者面談を実施し、個別指導を行っている。
 - ・教師主導（講義形式）の授業に偏ることなく、学生の考えを活かし発言を促すな

ど、学生とともにつくり上げる授業を意識して改善に取り組んでいる。

- ・ 11 月に授業評価のアンケートを実施した。結果については職員会議で共有し、今後の授業改善に活かしていく。
非常勤講師は「自己評価シート」を用いて授業の振り返りをし、授業改善に活かしている。
- ・ 全学科、実習先施設、・実務経験先企業と連携して実習評価を行い、学生の知識・技術の向上に努めている。また、事前に指導者へ指導要綱を送付し、指導者に周知した。
- ・ 成績評価については、教務内規をもとに成績判定会議を実施し、評価をしている。教務内規の内容についても適宜、検討を行っている。
- ・ 教員研修
4 月 26 日子どもマイスター養成科教員が令和 7 年度全国保育士養成協議会東北ブロック第 1 回総会に参加。
7 月 2 日薬業科教員が一般用医薬品販売資格に関するアップデートプログラム事業第 1 回企画推進委員会会議参加。
8 月 27・28 日に令和 7 年度全国保育士養成セミナーに参加。
9 月 13・14 日に令和 7 年度全国保育士協議会東北ブロックに参加。
10 月 31・11 月 1 日に介護福祉科教員が令和 7 年度全国教員研修会（近畿ブロック会）リモートでの参加。
11 月 29 日に介護福祉科教員が令和 7 年度東北ブロック教員研修会（秋田大会）リモート参加。
12 月日本登録販売者協会主催の 2025 年度集合研修代替動画を視聴し、最新の薬事行政情報等を学んだ。
校内では、校長講話による朝会研修を継続的に行っている。

② 課題・改善策

- ・ 科目の意義や内容等を周知するためにシラバス（授業概要）を作成し、学生、教員、講師等へ周知する。
- ・ 「専攻分野における実務に関する知識・技術・技能の修得・向上」、「授業及び学生に対する指導力等の修得・向上」及び「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」の 3 分類の教員研修へ参加する。
- ・ 個別のフォローが必要な学生について職員会議等で教員内の情報共有を行い、フォローしていく。
- ・ 授業評価について、評価の低い項目について分析して改善を図る。非常勤講師との面談も随時実施していく。
- ・ 成績評価の判定基準を周知徹底する。

（４）学修成果

評価項目	評価
・ 就職率の向上が図られているか。	4
・ 資格取得率の向上が図られているか。	4
・ 退学率の低減化が図られているか。	3
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

① 状況

- ・全学科内定率 100%に向けて学生への指導を継続して行った。
- ・介護福祉士試験合格率 87.5%（8 名中 7 名）、
日本赤十字社救急法基礎講習 100%（8 名中 8 名）、
医薬品登録販売者試験合格率 100%（13 名中 13 名）、
調剤報酬事務専門士試験合格率 100%（13 名中 13 名）、
医療事務技能審査試験合格率 100%（13 名中 13 名）、
幼児体育指導者検定 100%（19 名中 19 名）
- ・7 月に昨年度の卒業生全員を対象としたアンケート、12 月に昨年度の全就職先に対しアンケートを実施した。

② 課題・改善策

- ・就職先の開拓を行いながら、早期に就職率 100%を目指す。
- ・全員が目標資格の取得ができるよう、今後も受験対策の取り組みを継続し、合格率 100%を継続する。
- ・今後も継続して退学者の減少に向けて、クラス運営、学生支援体制を整備していく。
- ・卒業生・就職先へのアンケートの意見を今後の学校運営・教育活動に活かしていく。

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか。	3
・学生相談に関する体制は整備されているか。	3
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3
・学生の生活環境への支援は行われているか。	3
・保護者と適切に連携しているか。	3
・卒業生への支援体制はあるか。	3
・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか。	3

① 状況

- ・担任、就職担当教員を中心に学生の就職支援を行った。
- ・担任、教科担任などが窓口となり、全教員で相談の対応を行っている。
- ・高等教育の修学支援新制度、介護福祉士修学資金、保育士修学資金制度などの対象学生に対する手続き支援のほか、教育訓練給付制度、市町村が独自で行っている奨学金等の利用について学生へ周知するとともに、相談支援を細やかに行うことで、経済面に配慮できるよう支援を行った。
- ・学校生活において課題がある学生については保護者とこまめに連絡をとり、必要があれば保護者を含めた面談を行い、学生生活を円滑に過ごすことができるよう支援した。
- ・キャリア教育の一環として、高校生のみならず、小中学生に対しても本校での体験授業、出張授業を通じて職業教育を行っている。

② 課題・改善策

- ・面接や進路相談、就職先の開拓などの就職支援活動を継続して実施する。
- ・就職先について、学生・保護者とよく相談し最後まで支援する。
- ・今後も継続して学生が相談しやすい環境を整えていく。

- ・今後も保護者との連携を密に行っていく。
- ・今後も卒業生を対象としたスキルアップにつながる支援体制を整えていく。

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	3
・防災に対する体制は整備されているか。	3

① 状況

- ・施設の整備及び点検を実施している。
- ・5月7日に避難訓練を実施、10月9日に防災設備の取り扱いに関する訓練と研修に教員が参加。

② 課題・改善策

- ・設備の整備及び点検を継続して行う。
- ・新しい設備を精査し、購入計画に盛り込む。
- ・危機管理マニュアルについて、時事的な事柄にも対応できるよう毎年見直しをかけ周知する。
- ・今後も防災訓練を実施し、防災意識の向上に努めるとともにホームページでの連絡方法も継続する。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか。	3
・学生納付金は妥当なものとなっているか。	4

① 状況

- ・オープンキャンパスにおける体験や説明を今まで以上に丁寧に行っている。そこから参加者（保護者）と職員、学生とのコミュニケーションも深まり、参加者からの評価も良好である。

② 課題・改善策

- ・学生募集活動を継続する。
- ・学校としての取り組みについて、広報活動を活発にし、適正な募集活動に努める。

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3
・財務について会計監査が適正に行われているか。	3
・財務情報公開の体制整備はできているか。	3

① 状況

- ・発注業者の見直しや節電など経費削減に取り組んでいる。
- ・財務内容を公開している。

② 課題・改善策

- ・今後も経費節約を心がける。
- ・今後も継続して監査を実施する。
- ・必要に応じて財務内容を公開する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	3

① 状況

- ・今年度も予定どおり 12 月に自己点検を実施した。
- ・規則をもとに個人情報保護に努めている。

② 課題・改善策

- ・継続的に自己点検、自己評価を行う。
- ・今後も法令を遵守し、改善に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	3

① 状況

- ・7月19日、7月22日、8月6日介護施設の夏祭りボランティアに介護福祉科から参加、12月20日に施設のクリスマス会にボランティアとして参加。
- 10月27日・11月18日に子育てサポートボランティアを開催。
- ・社会貢献・地域貢献として、地域の清掃活動を行った。
- ・公共職業訓練（委託訓練）では、介護福祉士と保育士の養成で引き続き受託契約を行った。

② 課題・改善策

- ・社会・地域貢献活動をするための体制を整備し、継続していく。
- ・今後も継続して社会貢献、地域貢献に努める。